

トーモク及び日本製紙と提携し、 新包装システム「e3neo」の国内展開を開始

当社は、段ボール加工専門のトップメーカーである株式会社トーモク（代表取締役社長：中橋 光男、本社：東京都千代田区、以下「トーモク」）及び当社の親会社である日本製紙株式会社（以下「日本製紙」）とともに自動封函システム「e3neo」を日本国内市場に展開する事業を開始することとしました。

近年インターネットを通じた通販市場は国内においても急速に拡大する一方で、人手不足の問題は益々深刻化しており、物流倉庫における梱包・配送の省力化・効率化のニーズも増大しています。この新規事業は、こうした市場ニーズに向けて「e3neo」の販売と包材供給を行うものです。

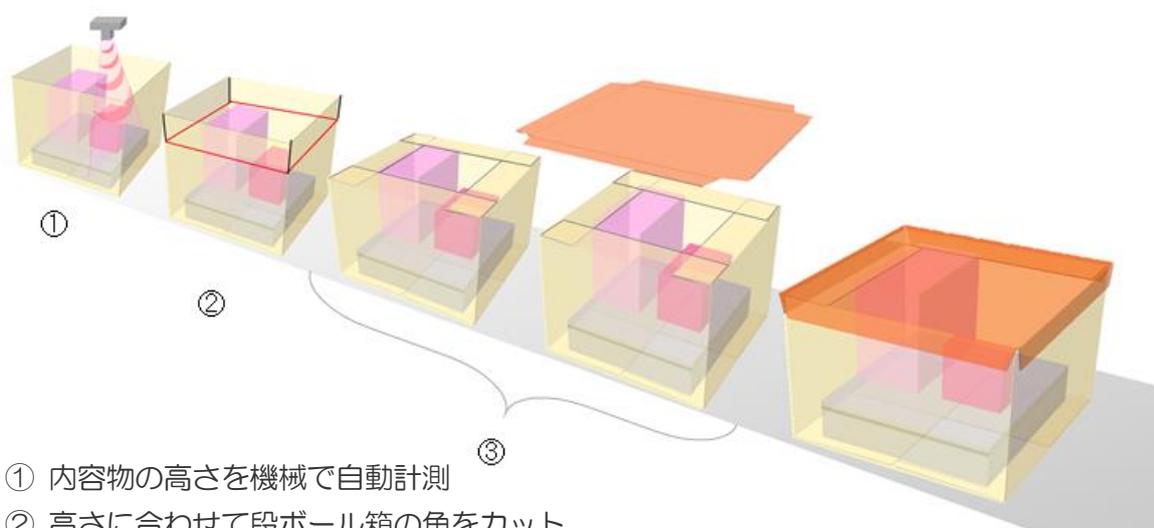
「e3neo」システムは、米国 Ranpak 社（紙包装資材・システムのメーカー）のフランス子会社 NeoPack Solutions SAS 社が世界で展開し、多数の実績を有するケース高さ可変自動調整封函システムであり、内容品の固定・保護システムと併せて、適正な空間で梱包することが可能になるとともに、梱包ラインの省力化、配送効率のアップに繋がることが最大の特長です。

トーモク、日本製紙及び当社の3社は、10月1日に基本合意書を締結し、共同でこの包装システムを積極的に市場展開することに合意しました。また、各社の役割として、日本製紙は段ボール原紙の供給、当社は包装機械の販売代理店窓口を務めるとともに納入後のメンテナンスサービスを提供、トーモクは本システムの営業及び段ボールの設計・供給を行います。

■ e3neo本体



■ 高さ可変封函システムのプロセスイメージ



- ① 内容物の高さを機械で自動計測
- ② 高さに合わせて段ボール箱の角をカット
- ③ フラップ部を折りたたみ、蓋で封函